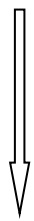


【箕川小学校「確かな学力」グランドデザイン】

P



D



〈個別最適化に基づき実践していく〉

- 1 子ども達自身が、その時間に学習すべきめあてをとらえられるようにする。
- 2 全員が自分の考えをもてるように見通しをもたせ、考える時間を確保する。
- 3 考えを文章に表現したり、話し合ったりする場を作る。
- 4 本時のねらいに迫るように、話し合いをコーディネートする。
- 5 まとめの時間を取り、学習内容の確認をする。
- 6 定着のための練習問題にじっくり取り組めるよう、時間を確保する。

C



A

- 単位時間のめあてのもたせ方と考える時間の確保についての調査（毎学期）
- 話し合い・発表・表現活動の把握
- 達成基準をもとにした定着度の把握
（全国学力学習状況調査・ふくしま学力調査・活用力育成シート・単元テストなどにより、指導状況の把握）
（学年の系統性・指導内容の把握・単元）
- 指導方法の振り返り □□□ 単元構成の工夫
- 児童の実態に応じた指導の工夫（全国学力・学習状況調査・ふくしま学力調査・NRT学力テスト
単元テストの結果の確認・分析・）

P



D



C



A

〈国語・算数の習熟を図る 時間の確保と読書タイム〉

- 1 朝のさわやかタイムの活用（1回10分）
・国語・算数 週1回ずつ
（ドリル・e ライブラリー・活用力育成シート）
・読書 週1回

- 習熟状況の確認
- よい本の薦め
（読書量の把握）

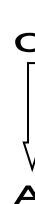
P



D



C



A

〈授業力の向上〉

- 1 児童の実態把握（学級力アンケート）
- 2 実態に応じた授業の充実
- 3 グランドデザインとの関連を図った現職教育の取り組み
「個別最適な学び・協働的な学び」
タブレット端末の活用（ロイロ）
- 4 目的に応じた学習形態の工夫（ペア・グループ・一斉）
- 5 少人数教育・特別支援教育（個に応じた指導）の充実

- 「授業改善シート」に反省（月1回）
- 学級の反省をもとにした
研究協議会での話し合い

P



D



C



A

〈学びの習慣の育成〉

- 1 「学習の仕方」の指導をする。
・日常生活での学習相談
・定期的な学習相談
- 2 家庭学習の内容を工夫する。
・授業での学習内容につながるもの（定着・補充・発展・予習）
・興味をもった学習の支援
・「家庭学習の手引き」の活用
・保護者の協力を依頼

- 毎日の「家庭学習」の点検と助言
- 学級での状況把握
- 学校便り・学年便りの活用

P



D



C



A

〈生活習慣の確立〉

- 1 家庭と連携した食育の推進を図る。
- 2 基本的生活習慣の形成を図る。
・早寝・早起き・朝ごはん・歯みがき
・メディアコントロール（毎月15日）
（6月・11月・2月は1週間）
・重点事項の指導
・自分手帳でのセルフチェック
・保護者会での家庭への啓発

- 保護者会での家庭への啓発
- 学校便り・学年便り・保健便りの活用

めざす姿

「できる楽しさ」
「わかる喜び」を
味わいながら自ら
学ぶ児童の育成

家庭の
協力